

# 消化器・肝臓センター



## NEW 一す

NO. 17

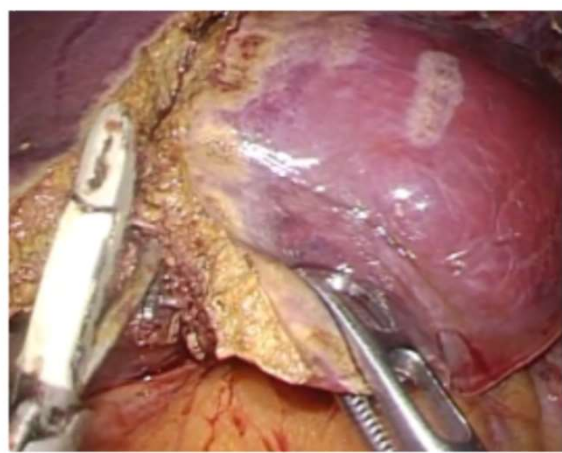
2016.11

## 肝切除の適応疾患は 肝臓がんだけではなくありません

肝切除の適応となる疾患といえば肝臓がんが容易に思い浮かびますが、まれなものでは各種の肉腫、肝細胞腺腫やその他の良性腫瘍、巨大化したり貧血・腹痛・食欲不振・嘔気等の症状が出れば適応となる疾患として肝血管腫・肝嚢胞等も挙げられます。造影CTを施行し、造影される腫瘍があったとして、鑑別診断は、下表のように多岐にわたっています。頻度的には肝細胞がんが多いですが、鑑別困難な疾患もあり、結果として肝切除を選択する場合もあり得ます。また、一部の良性腫瘍の中には悪性のポテンシャルを持つものがあり、肝切除の対象となり得ます（肝細胞腺腫など）。

### 鑑別診断

- ・肝細胞癌
- ・肝内胆管癌
- ・細胆管細胞癌
- ・混合型肝癌
- ・肝血管腫
- ・肝限局性結節性過形成(FNH)
- ・肝血管筋脂肪腫
- ・肝細胞腺腫
- ・肝炎症性腫瘤
- ・アルコール性肝疾患に伴う過形成結節



「肝細胞腺腫の腹腔鏡下肝切除例」

当院消化器・肝臓センターでは、肝臓疾患をはじめ消化器疾患全般に対する専門的治療を実施しています。

上記のような疾患が認められた場合や、鑑別にお困りの時など、どうぞお気軽に当院へご相談ください。

市立貝塚病院  
TEL : 072-422-5865

外科 星野 宏光

